

### Pick up イベント

### 〈テツドク!〉第三回 西田幾多郎「私と汝」

日時：7月4日（土）14:00~16:30

場所：さする庵

進行：武田朋士

7月4日土曜日、さする庵において行われた第3回テツドクで、西田幾多郎「私と汝」論文の紹介をさせていただいた。西田幾多郎の哲学に触れるうえで最も適当な論文とは言い難いが、他の論文に比べテーマが比較的受け入れやすく、またこういう機会でもなければ手に取ることがないだろうとの思いから、この論文を選んだ。

参加者は17名で、西田幾多郎を読み込んでいる人から、全く読まれたことのない人まで、様々だった。紹介兼進行役としては、論文を読み込むというよりは、そこに書かれている言葉から思ったことを自由に話してもらい、参加者それぞれが分からないところ、納得いかないところで悶々としてもらえればと思っていた。

実際には、西田特有の言葉の難解さ（「限定」「表現」「底」などなど）に悶々としてもらえたものの、やはりそれらの言葉の解釈に苦戦することになった。「西田はここでこういうことを言いたい」という「解説」はできるだけ控えたいと思い、論文からの引用で作成したプリントを読み上げることを中心にしたが、それだけでは、取り付く島がなかったかもしれない。

とはいえ、参加者には私よりもはるかに西田幾多郎を読み込んでいる方もいて、結果的にはそういった方に解説をしてもらうことで、多少なりとも前に進むことができた。そして、私には「わからない」と答えるしかない質問もあったが、単純に主張をくみ取れない難解さを感じてもらえたという意味では、意義のある時間になったように思う。

（報告：武田朋士）



さする庵：大阪天満宮の近く、あんじんビル2階に設けられた貸しスペース。JR「大阪天満宮」駅より徒歩2分。大阪市営地下鉄「南森町」駅より徒歩4分。

#### ▼〈テツドク（哲読）!〉とは

毎回1人の哲学者・思想家・宗教家とその文章を紹介し、参加者同士で対話を楽しみながら理解を深めるのがテツドクです。この機会に初めて哲学の文章に触れた人が、紹介した哲学者や哲学書に興味をもってもらえたらと思っています。

2009年3月より2ヶ月に1度のペースで開催しています。今年度は日本の思想家を取り上げていく予定。これまでに取上げた文章は、九鬼周造『偶然性の問題』（09年3月）、市川浩『〈身〉の構造』（09年5月）。

#### メンバーコラム

#### 濃い議論を持続する方法

堀江剛

7月末に英国で開催されたソクラテイク・ダイアローグ（一つの問いについて、少人数で一つの例を吟味しながら答えを求めていく対話の方法。以下、「SD」）の国際会議、そのプレイベント Weekend SD に参加してきた。この国際会議はほぼ隔年のペースで英国やドイツで開催されており、今年は6回目になる。会議では五日間にわたって、SDを中心とした哲学対話に関する実践報告や方法論のワークショップが行なわれる。今回はその前の週末に行なわれたSDに、広島大学総合科学研究科大学院生四人とともに参加した。私は大学の授業や企業研修などでSDを紹介し部分的に使っているが、それが本場で行なわれている姿を学生たちに体験させることが目的であった。

私が所属する総合科学研究科には様々な分野の学生がおり、今回も哲学・臨床心理学・文化人類学・言語学などを専攻する学生が参加した。彼／彼女らは「濃い議論を持続できる方法」としてのSDに新鮮な驚きを持つとともに、自分たちの研究分野にとってSDがどのように「使える」かにも関心を示した。例えば平和教育や言語教育の場面で、何らかの仕方でSDが使えるかどうかという実感を得たようである。英語では十分に参加できなかったこともあり、早速日本でSD合宿をしようといった提案も出された。今後の展開が楽しみである。

#### 【堀江剛】

二〇〇一年大阪大学臨床哲学研究室（博士後期課程）修了。在学中SDや哲学カフェに出会い、哲学対話の方法論、特に進行役に興味を持つ。現在、広島大学総合科学研究科准教授。

京阪なにわ橋駅構内にある「アートエリアB1」で開催している中之島哲学コレージュ。「女性専用車両は差別か?」を取り上げた七月八日の哲学カフェには、二十五人ほどの参加者が集まり、白熱した議論を繰り広げました。

議論が始まるやいなや、女性専用車両について「女性を痴漢から守るために必要」、「痴漢をするのはごく一部の男性なのに、男性全員を排除するのはおかしい」、「異性愛を前提していて、同性愛差別なのでは?」など、様々な意見が挙がりました。その後、出された意見について「利害調整や二一ズの問題であって、差別ではないのでは?」、「車両に乗る人を分けるとはどういうことか?」といった論点から検討が加えられました。また、各々の主張のなかで「差別」という言葉がどんな意味で使われているのか(正当性のなさ/排除/非対称性) 吟味し、「差別とは何か?」について議論しました。

最後に十分ほど感想を述べ合いながら議論を振り返り、二時間の議論を終了。参加者からは、「自分とは反対の意見にも説得力があった」、「身近な問題からジェンダーについてこんなに深く考えられるとは」と驚きの声が寄せられました。

何度も「女性専用車両」という具体的な事柄と、「差別とは何か?」という問いの間を行ったり来たりしながら、意見の食い違いや伝わらなさと真摯に向き合った参加者たち。性に関しては中立的な立場がありえませんが、むしろ立場の複数性やそれぞれの立場からみえる現実の差異が性という現象や問題を構成しているのではないのでしょうか? 食い違いや伝わらなさによって初めて浮かび上がる真理もある。そんなことを感じさせてくれる哲学カフェでした。

(報告…松川絵里)



【中之島哲学コレージュ 六〜七月】

六月十日 哲学カフェ「家に帰る、とは?」  
進行 岡辺裕美

六月二六日 セミナー「社会と臨床」 「自分の生を  
生ききる…患者の立場から」  
講師 藤本啓子

進行 西村高宏

七月八日 哲学カフェ  
「女性専用車両は差別か?」  
進行 松川絵里

七月二四日 セミナー「教育から移民問題へ」  
講師 松葉祥一

進行 中岡成文

## 2009年6〜7月 活動一覧

- 6月10日 哲学カフェ「家に帰る、とは?」アートエリアB1 岡辺裕美
- 6月13日 哲学カフェ「マイノリティとは誰か?」 とよなか国際交流センター 中川雅道
- 6月16日 哲学カフェ「家族はいつ家族になるのか?」 神戸市北区子育て支援センター 松川絵里
- 6月20日 哲学カフェ「公教育で『神話』を教えるのは悪いことか?」 Klein Blue 寺田俊郎
- 6月21日 シネマ哲学カフェ『ジョッキーを夢見る子どもたち』 シネ・ヌーヴォー 中川雅道
- 6月21日 哲学カフェ「健康とは何か?」 こいし歯科 松川絵里
- 7月4日 <テツドク!> 第3回 西田幾多郎「私と汝」 さする庵 武田朋士
- 7月8日 哲学カフェ「女性専用車両は差別か?」アートエリアB1 松川絵里
- 7月11日 哲学カフェ「うれしさ」 日本ホスピス・在宅ケア研究会 玉地雅浩
- 7月11日 哲学カフェ「むなしさ」 日本ホスピス・在宅ケア研究会 桑原英之
- 7月14日 哲学カフェ「結婚と同棲」 神戸市北区子育て支援センター 松川絵里
- 7月19日 哲学カフェ「時間がたたないとわからないこと」 コーヒーショップ JUN 桑原英之
- 7月25日 哲学カフェ「人形をむごいしかたで扱うのはなぜためられるのか?」 Klein Blue 寺田俊郎
- 7月26日 哲学カフェ「われわれは自由か?」 とよなか国際交流センター 谷山弘太

### CAFÉ PHILO (カフェフィロ)

2005年、大阪大学・臨床哲学研究室のメンバーを中心に発足。社会の様々な活動と接続しながら、哲学カフェ、書評カフェ、哲学対話セミナー(こども/大人対象)など、哲学の対話を促進する活動を展開中。

〒560-8232 大阪府豊中市待兼山町15 大阪大学文学研究科 本間准教授室内

e-mail: info@cafephil.jp http://www.cafephil.jp

哲学喫茶瓦版 2009年8月25日発行

発行人: 本間直樹 編集・デザイン: 井尻貴子・松川絵里

